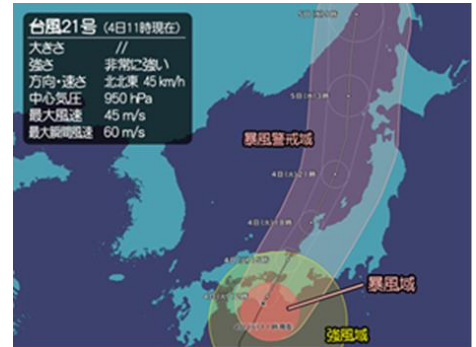


～平成30年台風第21号の被害を教訓に～

災害対策！日頃からの「事前準備」「備え」が大切です！

「こんなに大きな被害になるとは・・・」と多くの方々が感じたことです。

私たちは、このような非常に強力な台風や地震などの際に、必要な備えはできているでしょうか。自分自身や家族は適切な行動をとることができたでしょうか。



災害情報の入手方法

▷テレビ・ラジオ

最新の注意報、警報の発表情報を確認しましょう。

※平成30年台風第21号の際は、「FMいずみおおつ(85.5MHz)」から泉大津市の災害情報をリアルタイムに放送をしていただきました。停電時には、やはりラジオは必需品です！

▷ホームページ・SNS(フェイスブック、ツイッター、LINE)

市ホームページ・SNSでは、様々な緊急災害情報をお知らせします。また、SNSでは、情報発信のほか、災害情報の収集、情報共有に活用します。

※ 令和元年10月より、市公式LINEを開設しました。
ぜひご登録ください。

市 Facebook アカウント：泉大津市役所
おづみん公式ツイッターアカウント：ozuminofficial
LINE アカウント：泉大津市 ID：@izumitsu-city

▷緊急速報メール

緊急地震速報、津波情報、災害・避難情報を一斉にお知らせします。受信設定は各携帯会社にご確認ください。

▷屋外スピーカー・広報車

防災行政無線(屋外スピーカー)から災害・避難情報をお知らせします。放送内容が聞き取れなかった場合は、下記の電話番号で聞き直すことができます。

(通話料無料) ☎0800・200・3890 (みんなでやろうくんれんを！)

▷災害用伝言ダイヤル171

災害発生により通話が困難になった場合、提供が開始される伝言板です。171をダイヤルした後、ガイダンスに従ってください。

▷「おおさか防災ネット」

警報・注意報などの気象情報や地震・津波・避難情報など、最新の防災情報がメールで届きます。

✉touroku@osaka-bousai.net ^空メールを送信

非常持ち出し品・非常備蓄品で自らを守ろう！

▷災害時の備え、最低限(3日以上)の必需品を準備しておきましょう。

※台風第21号の暴風により、多くの建物で屋根の被害がありました。各家庭などでも事前にブルーシートの準備をしましょう！

※台風第21号では、長期にわたり停電した地域がありました。懐中電灯やラジオ、モバイルバッテリーの準備をしましょう！



「循環備蓄（ローリングストック）」で無理なく備蓄を！

▷循環備蓄(ローリングストック)とは…普段使わない物を特別に用意しておくのではなく、毎日普通に利用している食料品や生活必需品を少し多めに購入しておき、少なくなったらその都度買い足すという備蓄方法です。



家族防災会議で確認しておこう!

▷事前に避難場所や避難の方法について、家族で話し合っておいてください。

ポイント1 家族で話し合おう

家族の集合場所・時間を決めておく

- ・一時的に避難する避難場所を決めます。近くの公園など、なるべく安全な場所や避難所の敷地内で具体的な場所(例「〇〇小学校の鉄棒」と時間などを決めておきましょう。

避難所(避難生活をする所)を決めておく

- ・避難所は近くの小中学校です(大規模災害時には他の市施設なども避難所になる場合があります)。家族でどの避難所に行くかを決めておきましょう。
- ※自宅が無事な場合は、避難所ではなく自宅にとどまる選択もあります。



ポイント2 事前に調べておこう

避難経路を調べる

- ・自宅から一時避難場所や避難所までの避難経路を、事前に一度歩いておきましょう。日頃の道を。“防災の目”で見つめ直してください。

地域のルールを調べておく

- ・地域によって一時避難場所などを決めているところもあります。事前に確認しておきましょう。
- ・自治会や自主防災組織へ加入し、防災訓練などの活動に参加して、地域の絆を深めましょう。



「泉大津市総合防災マップ」を今一度ご確認を！

本市の被害想定や避難所などは、“泉大津市総合防災マップ”で今一度ご確認ください。市役所ロビー、危機管理課で配布しています。(平成26年3月に全戸配布しています。)



私たち一人ひとりの力は限られており、台風や地震などの自然災害を防ぐことはできませんが、自助(自分で自分や家族を守る)・共助(隣近所で助け合う)による「日頃の備え」や「早めの避難」で被害を軽減することはできます。

今回の台風被害を教訓に、普段からいざという時に備えた対策を行いましょよう!

泉大津市危機管理課

TEL : 0725-33-1131